

## 日々の田高（情報分野の専門家による特別講演会）



講演会の様子



代表生徒が先生にお礼を伝えています。

6月20日（土）午後、本校理数研究拠点校の取組の一環として、情報分野の専門家による特別講演会を実施し、20名の生徒が参加しました。今回の講演では、一般社団法人デジタル人材共創連盟代表理事、京都精華大学教授、元高等学校情報科教科調査官の鹿野利春氏をお招きし、「これからのAI社会の展望、AI時代に求められる資質・能力、大学入学共通テスト『情報Ⅰ』に関する内容」と、幅広いテーマについて講演いただきました。

講演では、AI技術の進展が社会に与える影響について、実社会での活用事例や今後予想される変化などをお話しいただき、生徒たちはこれからの社会においてAIとどのように向き合い、活用していくべきかについて理解を深めることができました。特に、AIが身近な分野にまで広がっている現状や、人間に求められる役割の変化についてのお話は、生徒にとって強い印象を与えるものでした。

また、情報活用能力や論理的思考力、課題解決力といった力の重要性についても丁寧にご説明いただき、単に知識を身に付けるだけでなく、考え、判断し、表現していくことの大切さを改めて認識する機会となりました。

さらに、大学入学共通テスト「情報Ⅰ」に関する話では、出題の背景や意図、そして受験において求められる力について具体的に解説していただきました。単なる知識の習得にとどまらず、思考力や判断力、表現力をどのように養っていくかという観点からの示唆も多く、生徒にとって今後の学習の方向性を見直す大変有意義な内容となりました。

講演後には、多くの生徒から積極的な質問が寄せられ、AIや情報分野に対する関心の高さと学習意欲の高まりがうかがえました。自ら考え疑問を持ち、主体的に学ぼうとする姿勢が見られたことは、大変印象的でした。本講演会を通して、生徒一人ひとりがAI社会に主体的に関わっていくための視点や意識を養うことができました。